

認定 NPO 法人底上げ報告書

2020
年度

気仙沼

 気仙沼での活動
 KESENNUMA

高校生マイプロ

コロナ禍で直接集まることが難しい状況の中でも、オンラインを多用して市内の高校生が集まり、学びや交流の場作りをすることができました。時には他県の高校生と交流する機会も作ることで、多様な機会が高校生と一緒に活動を行うこともありました。また、高校生が主体的に地域の中で実践するプロジェクトが生まれてきた時にサポートを行い、多くの実践が生まれました。そして2020年も無事に、気仙沼市主催の「気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード」を実施することができました。気仙沼市教育委員会や他の団体と協働して運営を行い、オンライン配信によって市内外の多くの方にも高校生のプレゼンを伝える時間ともなりました。高校生のエントリー数は過去最多、逆境の中で自分にできることを見つめ行動していく強さを実感しました。



気仙沼まち大学運営協議会

学びや繋がり創出し、対話・協働・共創による市民が主役のまちづくりを目指す「気仙沼まち大学構想」を体現する協議会のメンバーとして2020年度も携わってきました。会員制シェアスペース「□ship (スクエアシップ)」での物理的な集まりが制限される中、オンラインによる学びの機会や、個々の対話の機会によるまち全体のチャレンジの整理と可視化に努めることができました。気仙沼まち大学運営協議会のあり方そのものや、具体的に今後注力していく分野やテーマの設定も整理することができたので、構想の具体的な実現のために実践を加速させていきたいと思っています。



探究学習コーディネーター

気仙沼の地域における教育の魅力化を目指し、気仙沼市教育委員会より「探究学習コーディネーター」を拝命し、他の団体メンバーと協働しながら市内小中学校の総合の授業のサポートを行いました。中学校においては、市内11校中半分以上の学校の授業に関わったり、先生方と授業のあり方について対話する機会を作ることができました。総合的な授業の時間がより探究的になっていくために日々模索しながら活動をより広く展開していきたいと思っています。

CAMP

 若い世代の活動活躍応援
 Youth Activity

Sokoage Lounge

2016年から実施していたSOKOAGECAMPは、コロナの影響を受け開催を中止。繋がりを広げていくことに難しさがあった中で、今ある繋がりを深めることに意識を向け、過去のSOKOAGECAMP参加者などを対象とした月1回のオンライン勉強会「SokoageLounge」を実施しました。「関係性と人間成長について自分なりに再定義をすること」を目的とし、共通のインプットを入れて、対話を重ねながら学びを深めました。



BeCamp

年末に一年の振り返りと翌年の計を立てるプログラムBeCAMPを実施しました。今までは合宿プログラムとして運営していましたが、2020年は半日オンライン版として実施。NPO法人SETとの共催プログラムで関係性の輪も広がりもあり、また、変化の大きかった1年だったからこそ仲間とともに時間をかけて1年を振り返ることができる貴重な時間となりました。繋がりの希薄化が危惧されている今だからこそ、定期的にお互いの近況を聞き合える場をこれからも作っていききたいと思います。



B-action

「僕たちが生きている社会はクソ (Bull shit) だ」を前提条件に「クソであるならば自らの居心地の良い環境を自らが構築せよ！」という取り組み。本年度も昨年度同様オンラインで隔週（半年間）プログラムを開催。5期6期を開催し参加者は14名（インターン含む）。コロナ禍でより一人一人に時間の管理が迫られる中、どのように意識して環境を構築するかは重要なポイント。一人一人の総和が現代社会ならば、まだまだ社会は変化していきはらず。そしてより良くなっていきはらず！ B-action（ばくしょん）とは爆笑とアクションの造語です。

自分と未来を創る探求所

2018年度から、東京で大学生社会人向けのプログラムを始めました。日々の暮らし中で自分のほしい未来を探し自分で作ってみる。それをもとに毎月一回集まり参加者同士が対話をしながら自身の変化や特性、ほしい未来を探求します。東日本大震災後のさまざまな出会いによって生まれた「わたす日本橋」(<https://www.watasu.net/>) の皆様とともに作っているこのプログラム。2020年はコロナの影響を受け、オンラインで開催。過去参加者がサポートスタッフとして参画し、参加者合わせ14名が集まりました。東京から離れた場所からも参加することが可能となり、東北から進学で関東にきた大学生や、気仙沼で繋がりをもった社会人なども参加。東北と東京、今と未来、人の心に架け橋をわたすコミュニティにもなっています。

(※三井不動産株式会社からの業務受託事業)

東北ターン Lab.

2021年3月より、底上げとNPO法人きっかけ食堂、NPO法人TEDICの3団体で協働し、東日本大震災後、被災地で地域活動を経験した「大学生・若手社会人」を対象に、場所を問わず東北に関わるという選択が、可能且つポジティブになることを目的としたプログラムとして開始しました。14名の参加者と共に、東北に関わるきっかけとなるITスキルの獲得と、学びを共にするコミュニティの構築に向けて12月までオンラインで実施していきます。8~9月には、底上げと参加者でITを活用した講座と企画も予定しています。プログラムの様子はnoteにて発信中です！

<https://note.com/tohokuturnlab>



そこそこ団

そこそこ団について
SOKOSOKO MEMBER

そこそこ団について

私たちの考える底上げの賛助会員は、底上げの活動を寄付で応援するだけでなく、底上げの理念に共感し、一緒に体現していく仲間です。

キャッチコピーは、「楽しい事やる、絶対」会員だからこそその情報や関わり方を一緒につくっていきます。

賛助会員の年会費について

- 個人会員・¥12,000 (Syncable より月 1,000 円の分割にて支払い可能)
- 法人会員・¥50,000

お申し込み時にご入力いただいている情報を会員情報として受取ります。なお、賛助会員年会費および寄附金は税制優遇の対象となります。(詳しくは最寄りの税務署にご相談いただけますよう、お願い致します。)



寄附サイトの syncable は左記 QR コードよりご覧いただけます。

底上げ展～syncable キャンペーン

2019年に実施した Syncable でのキャンペーンをきっかけに実施が決まった「底上げ展」が2021年3月にオンラインにて開催されました。テーマは～10年間の問いと決断の連続～。事業報告ではなく、10年間の活動の結果の背景に、私たち底上げスタッフがどのような問いと決断をもって取り組んできたのか、いつも支えている皆様に感謝とともに、その背景にある思いをお届けすることができました。実施にあたり、昔から関わってくれていた方々に徐々に連絡することができたり、協働することができたりと、製作側にとってとても嬉しい機会になりました。

<https://sokoage.org/10years/>



理事にOBOG 就任について

2020年度より、「底上げ Youth」のOBOG4名が理事に就任しました。「底上げは誰のものか?」そんなことを考えます。「気仙沼のもの?」「理事のもの?」「寄付者のもの?」議論はつきません。ただ、一つ明確に言えることは「育てられた」から、「ともに育っていく」へ。ということです。そこには気仙沼出身の子たちのエネルギーが必要不可欠だと感じました。気仙沼で生まれ育ち、震災直後プログラムに参加してくれた子たちの多くは社会人となり活躍の場を広げています。阿部、大谷、小野寺、三浦、生粋の気仙沼のパワーを生かしながら次の10年のチャレンジが始まります。

Yahoo! ネット募金、寄付累計1万人突破

2017年3月にYahoo! ネット募金に登録させていただき4年の歳月が経過しました。その4年間に多くの方のご寄付をいただき、この度寄付者数の累計が1万人を突破しました。寄付総額は420万円を超えています(2021年3月現在)。毎月の継続寄付も26名おり本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

底上げ事務所移転 & 社用車解約

みなさまからお預かりした寄付を最大限に活用するということを意識して今まで活動を継続してきました。この度、コロナ禍の状況で当面ボランティアや大学生等を招聘した対面の事業実施が困難であることを想定し、事務所として借用していた「そこそこハウス」と、「底上げカー(社用車)」を手放すことにしました。経費をいかに抑え、適当な事業に費用を捻出していかは重要なポイントです。今回はこのような形になりましたが、変化が激しい現代社会において引き続き柔軟に運営を行なっていければと思います。(事務所は気仙沼市内で移転しております。)



寄付付き商品の寄付先に選定!

2021年3月は震災から10年という節目でした。そのタイミングにおいて、麒麟ビバレッジ株式会社様から全国で発売される「小岩井純水東北ミックス」の売り上げの一部を寄付する先として、底上げが選定されました。売り上げ一本につき1円を底上げと、(一財)あしなが育英会に寄付するものです。日本のどの地域にいらしても応援していただける機会を頂いた事に、喜びを感じています。東北の寄付先として選定頂いた事に誇りをもって活動を行っていきたいと思います。

Tシャツ販売

底上げ展の開催に合わせて、気仙沼出身の2人にオリジナルのTシャツデザインをお願いしました。1人は「志田淳」くん。彼が大学生の時から一緒にプロジェクトを行うなど、気づけば付き合いは10年となりました。今でも気仙沼で様々な事業を一緒に行うことができている大切な同志です。2020年に廃車にした底上げカーをモチーフに、とてもクールでかっこいいデザインになっています。もう1人は「mana.s」さん。彼女が中学生の時に出会い、ずっと繋がりが続いております。アートやデザインの才能が本当に素晴らしく、以前底上げが作成した冊子のイラストも彼女が高校生の時に書いてくれました。今回のTシャツは、リアス式海岸をイメージしながらダンボールで作成したものを画像に落とし込んでくれました。2つの文章の中にはsokoageがうまく潜んでおります。爽やかさと優しさを感じるオシャレなデザインになっています。本当に素敵な2人のデザイナーさんのデザインに感謝です!!



令和2年度 活動計算書			
令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月 31日まで			
特定非営利活動法人底上げ (単位:円)			
科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	60,000		60,000
賛助会員受取会費	1,301,818		1,301,818
2. 受取寄附金			
受取寄附金	11,482,737		11,482,737
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	2,500,000		2,500,000
4. 事業収益			
若者のエンパワメント事業	2,619,868		2,619,868
人づくりを通じた気仙沼のまちづくりに関する事業	3,248,010		3,248,010
組織・プロジェクトの企画相談事業	475,000		475,000
その他目的を達成する為に必要な事業	50,000		50,000
物品の制作・斡旋及び販売事業		19,000	19,000
5. その他収益			
受取利息	330		330
雑収入(注)	2,011,400		2,011,400
経常収益計	23,749,163	19,000	23,768,163
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬	3,048,000	0	3,048,000
給料手当	3,502,000	0	3,502,000
人件費計	6,550,000	0	6,550,000
(2) その他経費			
法定福利費	949,952	0	949,952
福利厚生費	0	0	0
外注費	0	0	0
荷造運賃	0	0	0
会議費	157,299	0	157,299
旅費交通費	137,294	0	137,294
通信費	349,880	0	349,880
消耗品費	192,211	0	192,211
修繕費	23,760	0	23,760
水道光熱費	69,024	0	69,024
新聞図書費	17,160	0	17,160
諸会費	1,760	0	1,760
支払手数料	188,982	220	189,202
車両費	153,855	0	153,855
地代家賃	442,900	0	442,900
賃借料	0	0	0
保険料	55,568	0	55,568
租税公課	41,200	0	41,200
減価償却費	217,624	0	217,624
印刷製本費	267,170	0	267,170
謝金	1,077,582	60,000	1,137,582
研修費	53,840	0	53,840
その他経費計	4,397,061	60,220	4,457,281
事業費計	10,947,061	60,220	11,007,281
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	762,000	0	762,000
給料手当	875,500	0	875,500
人件費計	1,637,500	0	1,637,500
(2) その他経費			
法定福利費	237,488	0	237,488
会議費	5,994	0	5,994
旅費交通費	1,016	0	1,016
通信費	75,595	0	75,595
消耗品費	10,479	0	10,479
修繕費	5,940	0	5,940
水道光熱費	17,257	0	17,257
新聞図書費	4,290	0	4,290
諸会費	440	0	440
支払手数料	44,859	0	44,859
車両費	2,927	0	2,927
地代家賃	37,500	0	37,500
保険料	13,892	0	13,892
租税公課	10,250	0	10,250
減価償却費	54,406	0	54,406
印刷製本費	24,818	0	24,818
謝金	113,200	0	113,200
研修費	13,460	0	13,460
その他経費計	673,811	0	673,811
管理費計	2,311,311	0	2,311,311
経常費用計	13,258,372	60,220	13,318,592
当期経常増減額	10,490,791	-41,220	10,449,571
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	10,490,791	-41,220	10,449,571
法人税、住民税及び事業税	48	72,000	72,048
当期正味財産増減額	10,490,743	-113,220	10,377,523
前期繰越正味財産額			33,943,139
次期繰越正味財産額			44,320,662

(注)雑収入 2,011,400円のうち2,000,000円は持続化給付金、11,400円は自動車税の還付金です。

令和2年度 財産目録

令和3年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 底上げ

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
ゆうちょ銀行通常貯金	16,421,059		
三菱UFJ銀行普通預金	23,971,161		
気仙沼信用金庫普通預金	0		
ゆうちょ銀行振替口座	4,669,686		
売掛金			
GMOペパボ株式会社	19,000		
前渡金			
労働保険	55,704		
源泉所得税過納付	29,102		
未収入金			
株式会社STYZ	328,724		
流動資産合計		45,494,436	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			45,494,436
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
3月分給与・経費	790,628		
3月分社会保険料	171,960		
未払法人税等			
未払住民税	72,000		
預り金			
源泉徴収所得税	126,053		
雇用保険	13,133		
流動負債合計		1,173,774	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			1,173,774
正味財産			44,320,662

令和2年度 貸借対照表

令和3年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 底上げ
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	45,061,906		
売掛金	19,000		
前渡金	84,806		
未収入金	328,724		
流動資産合計		45,494,436	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			45,494,436
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	962,588		
未払法人税等	72,000		
預り金	139,186		
流動負債合計		1,173,774	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			1,173,774
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		33,943,139	
当期正味財産増減額		10,377,523	
正味財産合計			44,320,662
負債及び正味財産合計			45,494,436

助成・寄附団体

助成・ご寄付いただいた団体
SUPPORT

助成・寄附

ファーウェイ東日本大震災 IT 支援プロジェクト助成



事業協力

日産スマイルサポート基金



ご寄付について

寄附金控除など
Donation

ご支援頂いた寄付金は、若者のエンパワメント事業、人づくりを通じた気仙沼のまちづくりに関する事業に使わせていただきます。活動にご賛同頂ける方からの温かいご支援をお待ちしております。

ご寄附の方法

方法1 クレジットカード (Syncable)

リンク先またはQRコードからサイトにてお手続きをお願い致します。

<https://syncable.biz/associate/sokoage/>

※ amazon pay/VISA/master に対応



方法2 銀行振込

ゆうちょ銀行

預金種目：当座

店名：二二九店（二ニキュウ店）

口座番号：0120905

口座種別：振替口座

口座名：特定非営利活動法人底上げ

記号番号：02290-9-120905

寄付金控除について

特定非営利活動法人底上げは平成28年7月27日付けで宮城県より「認定特定非営利活動法人（認定NPO）」として認定されました。これにより、平成28年7月27日以降に寄付いただいた金額は、税制優遇の対象となります。詳しくは最寄りの税務署にご相談いただけますよう、お願いいたします。

寄付控除には領収書が必要になります。

銀行振込にて御寄付頂く場合は通信欄への

①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④メールアドレス
の記入をお願い致します。

運営体制

底上げについて
Information

所在地

〒988-0077

宮城県気仙沼市古町2-7-117

運営体制

理事長 矢部 寛明

副理事長 齋藤 祐輔

理事兼事務局長 成宮 崇史

スタッフ 横山 沙織

理事 金指了 / 喜内 尚彦 / 三浦 亜美 / 阿部 愛里 / 小野寺 真希 / 大谷 逸稀

監事 山崎 賢治

顧問税理士 滝澤 正樹

Website



Facebook



Youtube

